



よしの 吉野 美香 議員

大好きな春がやってきました！

問 関係人口創出の取り組みは

町長 関係人口の重要性は高まっている

関係人口創出への取り組み

問 ふるさと納税を含めた関係人口の取り組み状況は。

町長 ふるさと納税制度の活用や津野町との姉妹町交流、都市部で開催される移住・定住フェアへの出展などにより、関係人口創出に取り組んでいるところである。さらに今後地域おこし協力隊や地域活性化起業者など、効果的な国の制度の活用を検討していきたい。

町の魅力を情報発信

問 都市部の人たちと交流を図る取り組みは。

町長 町ホームページやSNSなどの手段を用いて町外者へ向けて情報発信し町のPRに取り組んでいる。

本町の魅力や特色を広くPRし、国が展開するさまざまな事業の活用を幅広く検討していく。

ふるさとワーキングホリデー制度

問 休暇を利用し農家を手伝う「ふるさとワーキングホリデー」制度の活用は。

町長 都市部の方を受け

入れるための居住環境や受け入れる農家や企業との調整、プログラムの作成など、活用に至るまでは一定の検討期間が必要である。

コーディネーターを

問 情報発信や住民との交流を含め、イベントを実施するコーディネーターを置く考えは。

町長 イベントや交流機会創出に向けたコーディネーターとして、地域おこし協力隊の登用、ノウハウや知見を生かした地域活性化起業者制度などの活用が想定される。コーディネーター設定の可能性も含め検討したい。



問

訓子府町の子育て施策は

教育長

子育ての満足度が
高い評価である

現状の運営体制維持

問 認定こども園「わくわく園」の在園児減少に伴う運営の課題は。

教育長 少子化により入園者は減少傾向であるが、入園率の高さから緩やかな減少と考えており、当面、現状での運営体制を維持できる。

英語教育の取り組み

問 こども園における英語教育の取り組みはどのようになっていくのか。

教育長 町の語学指導助手を活用し定期的に活動を行っている。園の行事にも参加してもらい、触れ合うことで存在を感じたり、英語を耳にして過ごしている。

発熱やけがの対応

問 園児の突然のけがや発熱した場合、保護者との連絡や対応はどうしているのか。

教育長 確実に連絡のとれる連絡先を優先順位ごとに3番目まで登録してもらっている。緊急を要する場合は、保護者との電話などでの

遊びや交流を通して子どもたちの世界を広げ、未来を豊かなものにしていく。

確認後、来園を待たずに救急車やこども園が直接病院へ連れていく対応も行っている。



吉野議員の一般質問を視聴できます